

令和5年度三重県公営企業会計（企業庁）

決算審査意見書

令和6年9月

三重県監査委員

監 査 第 3 0 号
令和 6 年 9 月 6 日

三重県知事 一 見 勝 之 様

三重県監査委員	伊 藤	隆
三重県監査委員	平 畑	武
三重県監査委員	山 崎	博
三重県監査委員	伊 賀	恵

令和 5 年度企業会計決算の審査について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき令和 6 年 5 月 31 日付け総務第 07-38 号
で審査に付されたこのことについて、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審 査 の 概 要	1
1	審 査 の 対 象	1
2	審査の着眼点及び実施内容	1
第2	審 査 の 結 果 及 び 意 見	2
1	審 査 の 結 果	2
2	審 査 の 意 見	2
第3	経 営 の 概 要	3
1	経 営 収 支 の 状 況	3
2	建 設 改 良 の 状 況	4
3	長 期 債 務 の 状 況	5
4	一 般 会 計 繰 入 金 の 状 況	6
5	経 営 計 画 の 成 果 指 標	7
第4	事 業 会 計 別 の 状 況	9
1	三 重 県 水 道 事 業	9
2	三 重 県 工 業 用 水 道 事 業	21
第5	決 算 諸 表	33
1	三 重 県 水 道 事 業	33
2	三 重 県 工 業 用 水 道 事 業	40

令和5年度三重県公営企業会計（企業庁）決算審査意見書

第1 審査の概要

三重県監査委員監査基準（令和2年4月1日施行）に準拠し、次のとおり令和5年度三重県公営企業会計（企業庁）決算審査を実施した。

1 審査の対象

令和5年度 三重県水道事業会計

令和5年度 三重県工業用水道事業会計

2 審査の着眼点及び実施内容

令和5年度の三重県水道事業会計及び三重県工業用水道事業会計の決算審査は、知事から審査に付された決算書の内容について、

- (1) 決算諸表が、地方公営企業法その他関係法令に則り、三重県企業庁会計規程及び会計事務手続等の諸規程に基づき適正に作成されているか
- (2) 決算の計数は正確であるか
- (3) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (4) 予算は、計画的かつ効率的に執行されているか
- (5) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているかなどを重点に、各会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

「第1 審査の概要」のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に行われているものと認められる。

2 審査の意見

持続可能な事業経営について

水道事業及び工業用水道事業については、全国的な浸水被害、土砂災害被害及び長時間停電の発生状況、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を踏まえて令和4年3月に改定した「三重県企業庁経営計画（平成29年度～令和8年度）」並びに水道施設及び工業用水道施設の改良計画（以下「経営計画等」という。）に基づき、主要施設等の耐震化や老朽化した施設・設備の更新に加え、浸水対策、土砂災害対策及び長時間停電対策に取り組んでいる。

一方で事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、近年の物価高騰等による営業費用の増大のため、収支は大幅に悪化し、令和5年度決算では水道事業で約949万円の経常損失を、令和6年度予算では水道事業、工業用水道事業ともに多額の純損失を計上する状況となっている。

今後も安全で安心な水道用水と良質な工業用水を安定して供給していくため、能登半島地震での液状化による被害の発生や復興の取組も参考に、経営計画等に従い耐震化、老朽化対策、風水害対策等に取り組むとともに、厳しさを増す経営環境を踏まえ、受水市町と十分な意思疎通を行い、県民の理解が得られるよう、効率的な経営の下での公正で妥当な料金の設定、さらには将来の水需要に応じた施設規模や配置の適正化の検討に取り組むことにより、健全な事業経営の確保に努められたい。

第3 経営の概要

1 経営収支の状況

令和5年度の純損益を事業別にみると、水道事業で97万円、工業用水道事業で7,679万6,313円のそれぞれ黒字となっている。

前年度と比較すると、水道事業で7,014万387円、工業用水道事業で1,360万6,549円それぞれ純利益が減少している。

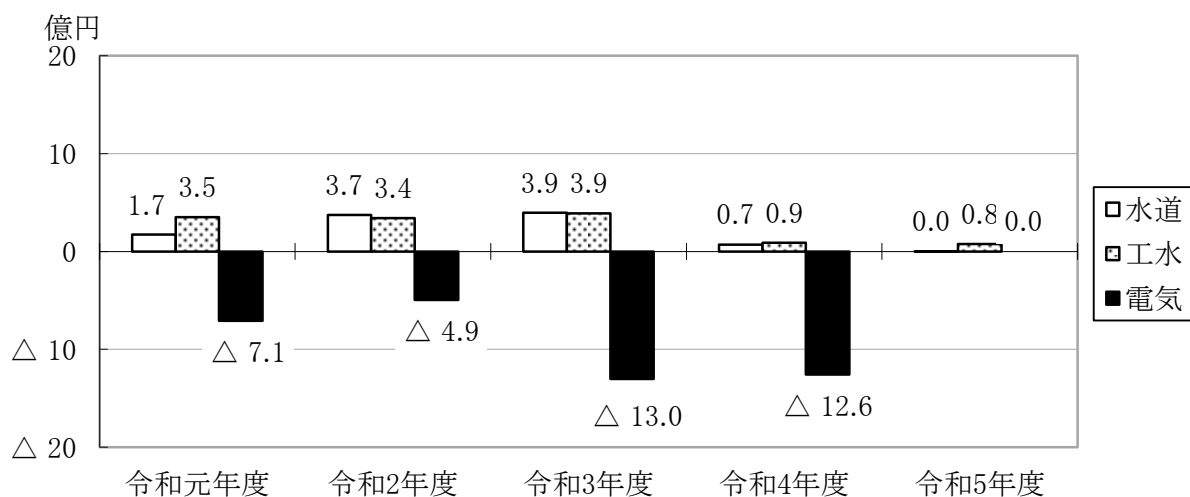
2事業合計で純損益は7,776万6,313円の黒字となり、電気事業を含めた前年度に比べると11億7,299万2,138円改善している。

【経営収支の状況】

事業名			令和5年度			令和4年度 純損益 (D)	比較増減 (C)-(D)	
			総収益 (A)	総費用 (B)	純損益 (C)=(A)-(B)			
水道事業			9,170,961	9,169,991	970	71,110	△ 70,140	
内訳	北中勢水道	北勢系	木曾川水系	1,286,321	1,303,631	△ 17,310	58,984	△ 76,294
		三重水系	1,580,210	1,592,800	△ 12,589	14,672	△ 27,262	
		長良川水系	763,957	714,335	49,622	22,535	27,087	
	中勢系	2,878,680	2,817,452	61,228	106,976	△ 45,748		
	南勢志摩水道	2,661,792	2,741,773	△ 79,981	△ 132,058	52,077		
工業用水道事業			5,833,817	5,757,020	76,796	90,403	△ 13,607	
内訳	北伊勢工業用水道		5,379,135	5,339,026	40,109	79,818	△ 39,709	
	中伊勢工業用水道		224,098	224,956	△ 858	3,074	△ 3,933	
	松阪工業用水道		230,584	169,971	60,613	29,986	30,626	
	鈴鹿工業用水道		0	23,068	△ 23,068	△ 22,476	△ 591	
電気事業			0	0	0	△ 1,256,739	1,256,739	
内訳	R D F 焼却・発電		0	0	0	△ 1,256,769	1,256,769	
	水力発電（残務整理）		0	0	0	30	△ 30	
合計			15,004,778	14,927,011	77,766	△ 1,095,226	1,172,992	

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

事業別純損益の推移



2 建設改良の状況

令和5年度の建設改良費は、水道及び工業用水道の2事業で74億2,779万656円となっており、前年度に比べ9億2,895万5,134円(11.1%)減少している。

事業別にみると、水道事業が39億4,461万3,848円(構成比53.1%)、工業用水道事業が34億8,317万6,808円(同46.9%)となっており、前年度に比べ、水道事業で2億4,940万3,217円(6.7%)増加、工業用水道事業で11億7,835万8,351円(25.3%)減少している。

なお、工業用水道事業において大きく減少しているのは、主に北伊勢工業用水道事業における内径1800耗制水弁取替工事(四期・西方)が複数年にわたる大規模工事であり、工事費用の年度配分の違いから令和4年度の割合が多くなっていたことによる。

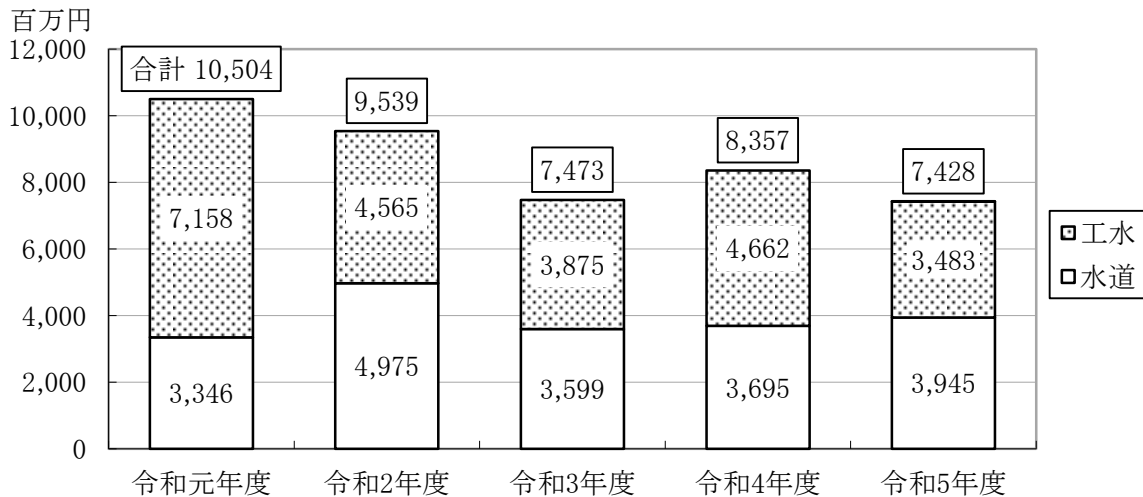
【建設改良費】

(単位：千円)

事業名	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度比率
	金額	構成比	金額	構成比		
水道事業	3,944,614	53.1%	3,695,211	44.2%	249,403	106.7%
工業用水道事業	3,483,177	46.9%	4,661,535	55.8%	△ 1,178,358	74.7%
合計	7,427,791	100.0%	8,356,746	100.0%	△ 928,955	88.9%

(注) 1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

建設改良費の推移



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

3 長期債務の状況

令和5年度末の企業債の現在高は、水道及び工業用水道の2事業で280億6,892万1,109円となっており、前年度末に比べ13億1,070万4,498円(4.5%)減少している。

事業別にみると、水道事業が74億7,544万1,797円(構成比26.6%)、工業用水道事業が205億9,347万9,312円(同73.4%)となっており、前年度末に比べ、水道事業で16億6,348万17円(18.2%)減少、工業用水道事業で3億5,277万5,519円(1.7%)増加している。

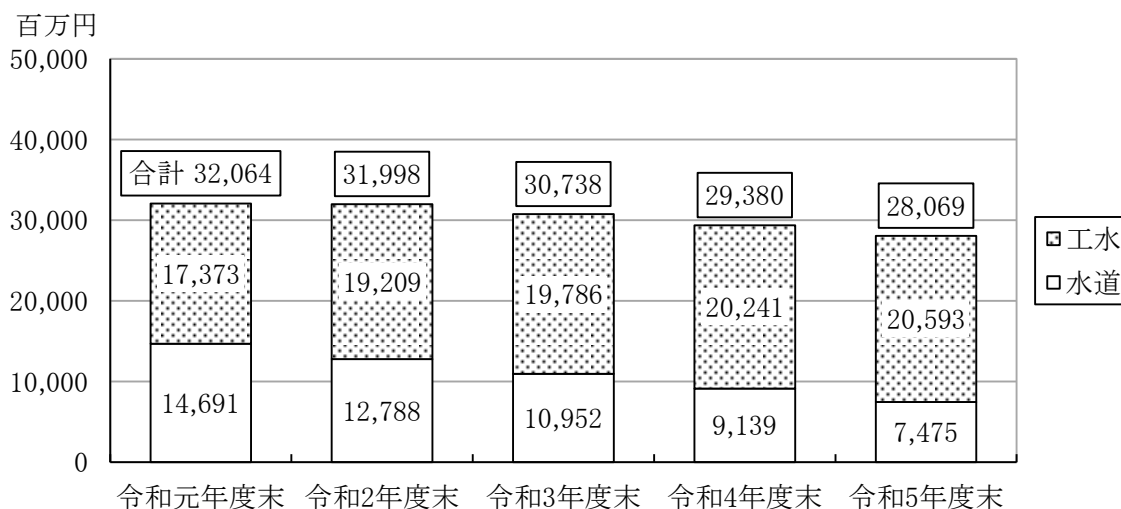
【企業債残高】

(単位：千円)

事業名	令和5年度末		令和4年度末		比較増減	対前年度比率
	金額	構成比	金額	構成比		
水道事業	7,475,442	26.6%	9,138,922	31.1%	△ 1,663,480	81.8%
工業用水道事業	20,593,479	73.4%	20,240,704	68.9%	352,776	101.7%
合計	28,068,921	100.0%	29,379,626	100.0%	△ 1,310,704	95.5%

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

企業債残高の推移



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

4 一般会計繰入金の状況

令和5年度の一般会計からの繰入金は、水道及び工業用水道の2事業で4億773万7,458円となっており、前年度に比べ881万1,960円(2.1%)減少している。

事業別にみると、水道事業が9,718万5,600円(構成比23.8%)、工業用水道事業が3億1,055万1,858円(同76.2%)となっており、前年度末に比べ、水道事業で3,042万9,400円(23.8%)減少、工業用水道事業で2,228万2,440円(7.7%)増加、電気事業で66万5,000円皆減している。

なお、水道事業において減少しているのは、水道広域化施設整備に係る建設改良費に対する出資金の減による。

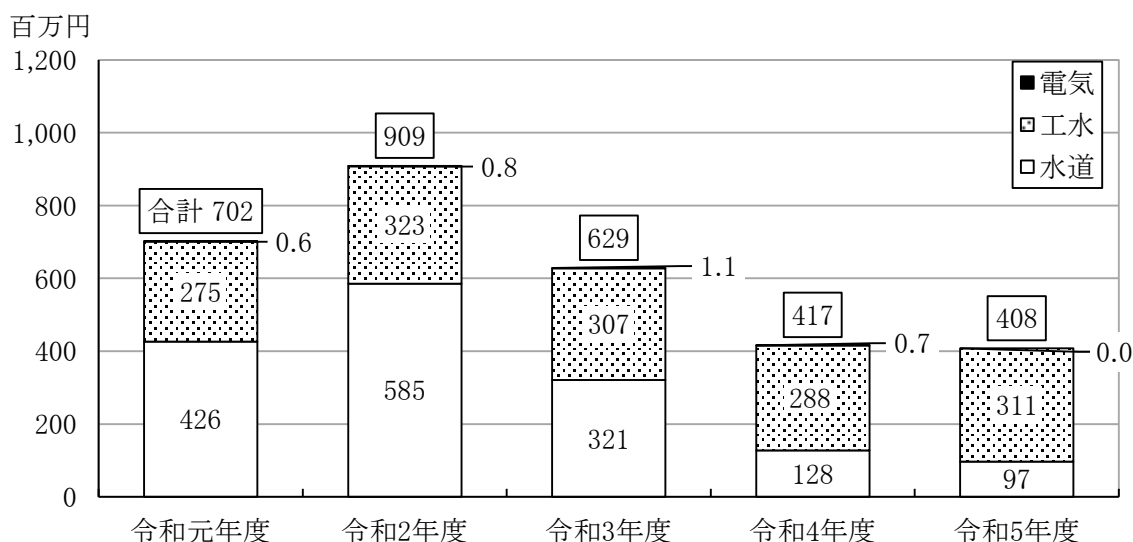
【一般会計繰入金】

(単位：千円)

事業名	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度比率
	金額	構成比	金額	構成比		
水道事業	97,186	23.8%	127,615	30.6%	△ 30,429	76.2%
工業用水道事業	310,552	76.2%	288,269	69.2%	22,282	107.7%
電気事業	0	0.0%	665	0.2%	△ 665	0.0%
合計	407,737	100.0%	416,549	100.0%	△ 8,812	97.9%

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

一般会計繰入金の推移



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

5 経営計画の成果指標

経営計画における成果指標の達成状況は、次のとおりとなっている。

(1) 水道事業

電気料金や労務単価の上昇に伴う営業費用の増大の影響を受けて、経常収支比率の実績が99.9%となり、目標の100.0%以上を達成出来なかった。

経営目標	成果指標	令和4年度 実績	令和5年度		(参考) 令和8年度 目標
			目標	実績	
安全でおいしい水の供給	水質基準適合率 (%)	100.0	100.0	100.0	毎年度 100
	総トリハロメタンの管理目標値達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	毎年度 100
	カビ臭物質の管理目標値達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	毎年度 100
	臭気強度の管理目標値達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	毎年度 100
強靱な水道の構築	浄水場の耐震化率 (%)	91.8	95.9	95.9	100.0
	調整池の耐震化率 (%)	71.4	71.4	71.4	85.7
	管路の耐震適合率 (%)	67.1	67.7	67.9	70.0
	設備の更新率 (%)	60.5	73.2	73.2	100.0
	給水障害発生件数 (件)	0	0	0	毎年度 0
健全な事業運営の持続	給水原価 (円/m ³)	106.6	112.5	105.6	115.0
	経常収支比率 (%)	100.8	100以上	99.9	毎年度100以上

- (注) 1 浄水場の耐震化率は、浄水場における浄水処理施設 (49 施設) のうち耐震化した施設数の割合
 2 調整池の耐震化率は、調整池 (14 施設) のうち耐震化した施設数の割合
 3 管路の耐震適合率は、管路総延長 (約 430km) のうち耐震適合性のある管路延長の割合
 4 設備の更新率は、経営計画期間中の更新対象設備 (157 設備) のうち更新した設備数の割合
 5 給水障害発生件数は、企業庁に起因する事故により、住民への給水支障が生じた件数
 水質事故や漏水等が発生した場合でも、住民に支障がない場合は、給水障害としない
 6 給水原価は、有収水量 1 m³をつくるために要する費用：
 $\{ \text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{長期前受金戻入}) \} \div \text{有収水量}$
 7 経常収支比率は、給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費等の経常経費をどの程度賄えているかを示す指標： $\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$

(2) 工業用水道事業

一部の管路布設替工事において、管路埋設工事ルートに見直しが生じ、その設計変更により時間を要したことから、管路の耐震適合率の実績が64.6%となり、目標の64.7%を達成出来なかった。

経営目標	成果指標	令和4年度 実績	令和5年度		(参考) 令和8年度 目標
			目標	実績	
強靱な工業用 水道の構築	主要施設の耐震化率 (%)	83.7	85.7	87.8	95.9
	浄水場の耐震化率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
	制水弁の更新率 (%)	60.9	65.2	68.1	100.0
	管路の耐震適合率 (%)	64.3	64.7	64.6	66.9
	設備の更新率 (%)	55.8	58.9	67.4	100.0
	給水障害発生件数 (件)	0	0	0	毎年度 0
健全な事業運 営の持続	給水原価 (円/m ³)	34.1	35.1	34.7	35.4
	年間給水量 (百万m ³)	213.0	213.0	213.0	213.0
	経常収支比率 (%)	101.6	100.0	101.2	毎年度100以上

- (注) 1 主要施設の耐震化率は、浄水場の浄水・排水処理施設や配水池等 (49 施設) のうち耐震化した施設数の割合
 2 浄水場の耐震化率は、浄水場における浄水処理施設 (25 施設) のうち耐震化した施設数の割合
 3 制水弁の更新率は、経営計画期間中の更新対象数 (69 基) のうち更新した制水弁数の割合
 4 管路の耐震適合率は、管路総延長 (約 350km) のうち耐震適合性のある管路延長の割合
 5 設備の更新率は、経営計画期間中の更新対象設備 (129 設備) のうち更新した設備数の割合
 6 給水障害発生件数は、企業庁に起因する事故によりユーザーへの給水支障が生じた件数
 なお、漏水等が発生した場合でも、ユーザーに実害がない場合は給水障害としない
 7 給水原価は、有収水量 1 m³をつくるために要する費用：

$$\{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{長期前受金戻入})\} \div \text{有収水量}$$

 8 年間給水量は、一日あたりの基本水量から休止水量を減じて得た水量を 1 年間分積み上げた水量
 9 経常収支比率は、給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費等の経常経費をどの程度賄えているかを示す指標： $\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$

第4 事業会計別の状況

1 三重県水道事業

(1) 事業の概況

水道事業は、令和6年3月31日現在、9市9町に給水しており、施設の給水能力は日量429,366 m³である。

令和5年度の1日平均使用水量は212,644 m³（施設利用率49.5%）で、前年度に比べ4,023 m³（同0.9ポイント）増加している。また、年間の使用水量は78,040,425 m³で、前年度に比べ2,310,868 m³（3.1%）増加している。これは、主に3月20日（検針日）の曜日の関係で、年間給水日数が増加（令和4年度363日→令和5年度367日）したことによる。

業務実績表（水道事業）

事業名	区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)	
水合 道 事 業 計	給水能力（m ³ /日）	429,366	429,366	0	100.0%	
	1日平均使用水量（m ³ /日）	212,644	208,621	4,023	101.9%	
	施設利用率（%）	49.5	48.6	0.9	-	
	使用水量（m ³ /年）	78,040,425	75,729,557	2,310,868	103.1%	
	給水収益（千円/年）	8,188,341	8,098,217	90,124	101.1%	
	給水対象市町：津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、鳥羽市、志摩市、木曾岬町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町（9市9町）					
北中勢 水道 用 水 供 給 事 業 （ 北 勢 系）	木曾 川 用 水 系	給水能力（m ³ /日）	80,300	80,300	0	100.0%
		1日平均使用水量（m ³ /日）	39,879	38,424	1,454	103.8%
		施設利用率（%）	49.7	47.9	1.8	-
		使用水量（m ³ /年）	14,635,545	13,948,065	687,480	104.9%
		給水収益（千円/年）	1,245,306	1,218,495	26,812	102.2%
	料 金	基本料金（円/m ³ ・月）	700	700	0	100.0%
		使用料金（円/m ³ ）	39	39	0	100.0%
		超過料金（円/m ³ ）	180	180	0	100.0%
	給水対象市町：四日市市、桑名市、鈴鹿市、木曾岬町、朝日町、川越町（3市3町）					
	三 重 用 水 系	給水能力（m ³ /日）	51,000	51,000	0	100.0%
		1日平均使用水量（m ³ /日）	33,806	33,862	△ 57	99.8%
		施設利用率（%）	66.3	66.4	△ 0.1	-
		使用水量（m ³ /年）	12,406,739	12,292,045	114,694	100.9%
給水収益（千円/年）		1,530,383	1,525,910	4,473	100.3%	
料 金		基本料金（円/m ³ ・月）	1,710	1,710	0	100.0%
		使用料金（円/m ³ ）	39	39	0	100.0%
	超過料金（円/m ³ ）	180	180	0	100.0%	
給水対象市町：四日市市、鈴鹿市、菰野町（2市1町）						

事業名	区分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)		
北中勢水道用水供給事業 (北勢系) (続き)	長良川水系	給水能力 (m ³ /日)	18,000	18,000	0	100.0%	
		1日平均使用水量 (m ³ /日)	9,037	9,110	△ 73	99.2%	
		施設利用率 (%)	50.2	50.6	△ 0.4	-	
		使用水量 (m ³ /年)	3,316,525	3,307,057	9,468	100.3%	
		給水収益 (千円/年)	628,784	628,415	369	100.1%	
		料金	基本料金 (円/m ³ ・月)	(2,430)	(2,430)	(0)	(100.0%)
			使用料金 (円/m ³)	2,230	2,230	0	100.0%
			超過料金 (円/m ³)	39	39	0	100.0%
		給水対象市町：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、木曾岬町、菰野町、朝日町、川越町 (4市4町)					
		北中勢水道用水供給事業 (中勢系)	雲出川水系・長良川水系	給水能力 (m ³ /日)	140,216	140,216	0
1日平均使用水量 (m ³ /日)	71,358			68,773	2,585	103.8%	
施設利用率 (%)	50.9			49.0	1.8	-	
使用水量 (m ³ /年)	26,188,306			24,964,458	1,223,848	104.9%	
給水収益 (千円/年)	2,636,632			2,588,902	47,730	101.8%	
料金	基本料金 (円/m ³ ・月)			960	960	0	100.0%
	使用料金 (円/m ³)			39	39	0	100.0%
	超過料金 (円/m ³)			180	180	0	100.0%
給水対象市町：津市、松阪市 (2市)							
南勢志摩水道用水供給事業				給水能力 (m ³ /日)	139,850	139,850	0
		1日平均使用水量 (m ³ /日)	58,565	58,452	113	100.2%	
		施設利用率 (%)	41.9	41.8	0.1	-	
		使用水量 (m ³ /年)	21,493,310	21,217,932	275,378	101.3%	
		給水収益 (千円/年)	2,147,235	2,136,495	10,740	100.5%	
		料金	基本料金 (円/m ³ ・月)	780	780	0	100.0%
			使用料金 (円/m ³)	39	39	0	100.0%
			超過料金 (円/m ³)	180	180	0	100.0%
		給水対象市町：伊勢市、松阪市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町 (4市5町)					

- (注) 1 使用水量は、料金収入(使用料金)の算定水量(有収水量)
2 長良川水系の基本料金()内は、亀山市の区域に係るものである。
3 四捨五入のため、比較増減等が合わない場合がある。

(2) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
水道事業収益	9,970,706,000	9,997,042,516	26,336,516	100.3%
営業収益	8,970,357,000	9,012,079,860	41,722,860	100.5%
営業外収益	1,000,349,000	974,500,032	△ 25,848,968	97.4%
特別利益	0	10,462,624	10,462,624	-

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A)
水道事業費用	9,764,583,260	9,643,990,239	1,411,818	119,181,203	98.8%
営業費用	9,329,413,660	9,246,186,806	1,411,818	81,815,036	99.1%
営業外費用	433,169,600	397,803,433	0	35,366,167	91.8%
予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 水道事業収益の決算額が予算額を2,633万6,516円上回っているのは、主に給水収益の増加による。
- ② 水道事業費用の決算額と繰越額の合計が予算額を1億1,918万1,203円下回っているのは、主に消費税および地方消費税額の確定に伴う減による。

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
資本的収入	431,494,000	431,493,000	△ 1,000	100.0%
補助金	226,570,000	226,570,000	0	100.0%
出資金	54,924,000	54,923,000	△ 1,000	100.0%
長期貸付金償還金	150,000,000	150,000,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む(ただし、課税取引なし)。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A)
資本的支出	6,226,322,740	5,630,626,865	415,809,011	179,886,864	90.4%
建設改良費	4,540,296,740	3,944,613,848	415,809,011	179,873,881	86.9%
償還金	1,686,026,000	1,686,013,017	0	12,983	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額を1,000円下回っているのは、端数処理による。
- ② 資本的支出の決算額と繰越額の合計が予算額を1億7,988万6,864円下回っているのは、主に南勢水道改良費の減による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額51億9,913万3,865円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3億5,109万6,902円及び過年度分損益勘定留保資金48億4,803万6,963円で補てんしている。

(3) 経営成績

ア 損益の状況

(単位：円)

項目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)－(B)	比率 (A)/(B)
総収益	9,170,961,132	8,999,335,887	171,625,245	101.9%
営業収益	8,193,010,234	8,103,086,359	89,923,875	101.1%
営業外収益	967,488,274	896,249,528	71,238,746	107.9%
特別利益	10,462,624	0	10,462,624	皆増
総費用	9,169,991,132	8,928,225,500	241,765,632	102.7%
営業費用	8,906,068,080	8,661,514,064	244,554,016	102.8%
営業外費用	263,923,052	266,711,436	△ 2,788,384	99.0%
営業損益	△ 713,057,846	△ 558,427,705	△ 154,630,141	-
経常損益	△ 9,492,624	71,110,387	△ 80,603,011	-
純損益	970,000	71,110,387	△ 70,140,387	1.4%

令和5年度の総収益は91億7,096万1,132円で、前年度に比べ1億7,162万5,245円増加している。これは主に、受水市町への給水量の増加に伴う給水収益の増及び受託工事収益の増による。

総費用は91億6,999万1,132円で、前年度に比べ2億4,176万5,632円増加している。これは主に、委託料及び減価償却費の増による。

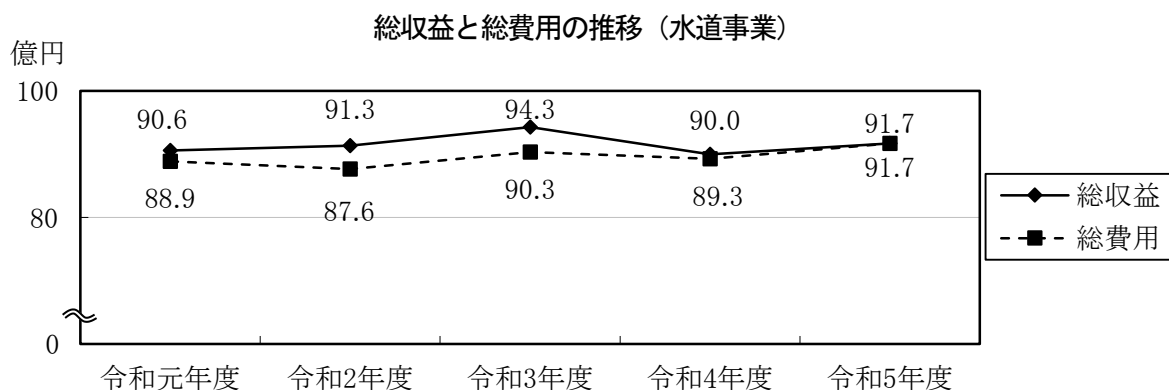
この結果、純損益は97万円の黒字となったが、前年度に比べ7,014万387円悪化している。

なお、事業別の純損益は、北中勢水道用水供給事業が8,095万863円の黒字、南勢志摩水道用水供給事業が7,998万863円の赤字となっている。

【事業別純損益の状況】

(単位：円)

事業名	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A)-(B)
北中勢水道用水供給事業	6,509,169,005	6,428,218,142	80,950,863
北木曾川水系	1,286,321,253	1,303,631,018	△ 17,309,765
勢三重水系	1,580,210,259	1,592,799,713	△ 12,589,454
系長良川水系	763,957,245	714,335,123	49,622,122
中勢系 雲出川水系・長良川水系	2,878,680,248	2,817,452,288	61,227,960
南勢志摩水道用水供給事業	2,661,792,127	2,741,772,990	△ 79,980,863
合計	9,170,961,132	9,169,991,132	970,000



イ 主な経営成績

事業名		区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
北中勢水道用水供給事業（北勢系）	木曾川水系	総収益（円）	1,286,321,253	1,256,566,311	29,754,942	102.4%
		総費用（円）	1,303,631,018	1,197,581,931	106,049,087	108.9%
		当年度純損益（円）	△ 17,309,765	58,984,380	△ 76,294,145	-
		総収支比率（%）	98.7	104.9	△ 6.3	-
		供給単価（円/m ³ ）	85.1	87.4	△ 2.3	97.4%
		給水原価（円/m ³ ）	86.6	83.4	3.2	103.9%
	三重水系	総収益（円）	1,580,210,259	1,571,947,970	8,262,289	100.5%
		総費用（円）	1,592,799,713	1,557,275,525	35,524,188	102.3%
		当年度純損益（円）	△ 12,589,454	14,672,445	△ 27,261,899	-
		総収支比率（%）	99.2	100.9	△ 1.7	-
		供給単価（円/m ³ ）	123.4	124.1	△ 0.8	99.4%
		給水原価（円/m ³ ）	124.5	123.0	1.5	101.2%
	長良川水系	総収益（円）	763,957,245	771,181,910	△ 7,224,665	99.1%
		総費用（円）	714,335,123	748,647,011	△ 34,311,888	95.4%
		当年度純損益（円）	49,622,122	22,534,899	27,087,223	220.2%
		総収支比率（%）	106.9	103.0	3.9	-
		供給単価（円/m ³ ）	189.6	190.0	△ 0.4	99.8%
		給水原価（円/m ³ ）	174.9	183.3	△ 8.4	95.4%
北中勢水道用水供給事業（中勢系）	雲出川水系 長良川水系	総収益（円）	2,878,680,248	2,831,244,136	47,436,112	101.7%
		総費用（円）	2,817,452,288	2,724,267,900	93,184,388	103.4%
		当年度純損益（円）	61,227,960	106,976,236	△ 45,748,276	57.2%
		総収支比率（%）	102.2	103.9	△ 1.8	-
		供給単価（円/m ³ ）	100.7	103.7	△ 3.0	97.1%
		給水原価（円/m ³ ）	98.7	99.6	△ 1.0	99.0%
南勢志摩水道用水供給事業	総収益（円）	2,661,792,127	2,568,395,560	93,396,567	103.6%	
	総費用（円）	2,741,772,990	2,700,453,133	41,319,857	101.5%	
	当年度純損益（円）	△ 79,980,863	△ 132,057,573	52,076,710	-	
	総収支比率（%）	97.1	95.1	2.0	-	
	供給単価（円/m ³ ）	99.9	100.7	△ 0.8	99.2%	
	給水原価（円/m ³ ）	105.5	108.7	△ 3.2	97.0%	
水道事業計	総収益（円）	9,170,961,132	8,999,335,887	171,625,245	101.9%	
	総費用（円）	9,169,991,132	8,928,225,500	241,765,632	102.7%	
	当年度純損益（円）	970,000	71,110,387	△ 70,140,387	1.4%	
	総収支比率（%）	100.0	100.8	△ 0.8	-	
	供給単価（円/m ³ ）	104.9	106.9	△ 2.0	98.1%	
	給水原価（円/m ³ ）	105.6	106.6	△ 1.0	99.1%	

(注) 1 総収支比率＝総収益÷総費用

2 供給単価＝給水収益÷有収水量

3 給水原価＝{経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋長期前受金戻入)}
÷有収水量

4 四捨五入のため、比較増減等が合わない場合がある。

(7) 北中勢水道用水供給事業（北勢系）

a 木曾川用水系

総収益は12億8,632万1,253円で、前年度に比べ2,975万4,942円増加している。これは主に、受水市町への給水量の増加に伴う給水収益の増による。

総費用は13億363万1,018円で、前年度に比べ1億604万9,087円増加している。これは主に、労務単価の上昇による委託料の増による。

この結果、純損益は1,730万9,765円の赤字となり、前年度に比べ7,629万4,145円悪化している。

b 三重用水系

総収益は15億8,021万259円で、前年度に比べ826万2,289円増加している。これは主に、受水市町への給水量の増加に伴う給水収益の増による。

総費用は15億9,279万9,713円で、前年度に比べ3,552万4,188円増加している。これは主に、労務単価の上昇による委託料の増による。

この結果、純損益は1,258万9,454円の赤字となり、前年度に比べ2,726万1,899円悪化している。

c 長良川水系

総収益は7億6,395万7,245円で、前年度に比べ722万4,665円減少している。これは主に、受託工事収益の減による。

総費用は7億1,433万5,123円で、前年度に比べ3,431万1,888円減少している。これは主に、修繕費の減による。

この結果、純損益は4,962万2,122円の黒字となり、前年度に比べ2,708万7,223円改善している。

(4) 北中勢水道用水供給事業（中勢系）

総収益は28億7,868万248円で、前年度に比べ4,743万6,112円増加している。これは主に、受水市町への給水量の増加に伴う給水収益の増による。

総費用は28億1,745万2,288円で、前年度に比べ9,318万4,388円増加している。これは主に、労務単価の上昇による委託料、資産減耗費及び修繕費の増による。

この結果、純損益は6,122万7,960円の黒字となったが、前年度に比べ4,574万8,276円悪化している。

(5) 南勢志摩水道用水供給事業

総収益は26億6,179万2,127円で、前年度に比べ9,339万6,567円増加している。これは主に、受託工事収益の増による。

総費用は27億4,177万2,990円で、前年度に比べ4,131万9,857円増加している。これは主に、労務単価の上昇による委託料及び受託工事費の増による。

この結果、純損益は7,998万863円の赤字となったが、前年度に比べ5,207万6,710円改善している。

(4) 剰余金計算書

(単位：円)

区 分	令和4年度末残高	令和4年度処分額	令和5年度変動額	令和5年度末残高
資本金	91,272,184,994	394,917,051	54,923,000	91,722,025,045
剰余金	1,335,180,498	△ 394,917,051	970,000	941,233,447
資本剰余金	869,153,060	0	0	869,153,060
受贈財産評価額	1,037,878	0	0	1,037,878
工事負担金	57,614,051	0	0	57,614,051
国庫補助金	810,246,063	0	0	810,246,063
その他資本剰余金	255,068	0	0	255,068
利益剰余金	466,027,438	△ 394,917,051	970,000	72,080,387
減債積立金	0	0	0	0
未処分利益剰余金	466,027,438	△ 394,917,051	970,000	72,080,387
資本合計	92,607,365,492	0	55,893,000	92,663,258,492

① 資本金の令和5年度末残高は、令和4年度に議会の議決を経て3億9,491万7,051円を組み入れるとともに、一般会計からの出資金5,492万3,000円を受け入れたため、令和4年度末残高から4億4,984万51円増加し、917億2,202万5,045円となっている。

② 剰余金の令和5年度末残高は、令和4年度末残高から3億9,394万7,051円減少し、9億4,123万3,447円となっている。

なお、利益剰余金の令和5年度末残高は、令和4年度末残高から、資本金への組入により3億9,491万7,051円が減少し、令和5年度純利益分97万円が増加し、7,208万387円となっている。

(5) 剰余金処分計算書

区 分	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
令和5年度末残高	91,722,025,045	869,153,060	72,080,387
処分後残高	91,722,025,045	869,153,060	(繰越利益剰余金) 72,080,387

未処分利益剰余金7,208万387円については、全額翌年度へ繰り越すこととしている。

(6) 財政状態

ア 貸借対照表

(単位：円)

科 目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
固定資産	115,560,579,175	116,856,643,757	△ 1,296,064,582	98.9%
流動資産	10,678,946,118	12,201,316,789	△ 1,522,370,671	87.5%
資産合計	126,239,525,293	129,057,960,546	△ 2,818,435,253	97.8%
固定負債	10,429,850,879	12,224,789,263	△ 1,794,938,384	85.3%
流動負債	2,402,145,669	2,828,539,525	△ 426,393,856	84.9%
繰延収益	20,744,270,253	21,397,266,266	△ 652,996,013	96.9%
負債合計	33,576,266,801	36,450,595,054	△ 2,874,328,253	92.1%
資本金	91,722,025,045	91,272,184,994	449,840,051	100.5%
剰余金	941,233,447	1,335,180,498	△ 393,947,051	70.5%
資本合計	92,663,258,492	92,607,365,492	55,893,000	100.1%
負債・資本合計	126,239,525,293	129,057,960,546	△ 2,818,435,253	97.8%

(ア) 固定資産

決算額は1,155億6,057万9,175円で、前年度に比べ12億9,606万4,582円(1.1%)減少している。これは主に、無形固定資産(ダム使用権等)の償却及び長期貸付金の県からの返済による。

(イ) 流動資産

決算額は106億7,894万6,118円で、前年度に比べ15億2,237万671円(12.5%)減少している。これは主に、現金預金の減による。

(ウ) 固定負債

決算額は104億2,985万879円で、前年度に比べ17億9,493万8,384円(14.7%)減少している。これは主に、企業債の元金償還に伴う残高の減による。

(エ) 流動負債

決算額は24億214万5,669円で、前年度に比べ4億2,639万3,856円(15.1%)減少している。これは主に、建設改良工事等の未払金の減による。

(オ) 繰延収益

決算額は207億4,427万253円で、前年度に比べ6億5,299万6,013円(3.1%)減少している。これは、長期前受金の収益化に伴う減による。

(カ) 資本金

決算額は917億2,202万5,045円で、前年度に比べ4億4,984万51円(0.5%)増加している。これは主に、減債積立金取崩額の組入に伴う増による。

(キ) 剰余金

決算額は9億4,123万3,447円で、前年度に比べ3億9,394万7,051円(29.5%)減少している。これは、当年度未処分利益剰余金の減少に伴う利益剰余金の減による。

イ 経営分析

項目		令和5年度	令和4年度	(参考) 令和4年度 全国平均	算式
経済性	経営資本営業利益率 (%)	△ 0.65	△ 0.49	△ 0.32	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$
	経営資本回転率 (回)	0.074	0.072	0.065	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
	営業収益営業利益率 (%)	△ 8.7	△ 6.9	△ 4.9	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$
	経常収支比率 (%)	99.9	100.8	105.8	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
安定性	自己資本構成比率 (%)	89.8	88.3	80.4	$\frac{\text{自己資本}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	93.3	92.6	91.6	$\frac{\text{固定資産}}{(\text{固定負債} + \text{自己資本})} \times 100$
	流動比率 (%)	444.6	431.4	385.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
生産性	施設利用率 (%)	49.5	48.6	63.3	$\frac{\text{1日平均使用水量}}{\text{1日あたり給水能力}} \times 100$
	職員1人あたり有収水量 (千m ³)	709.5	714.4	1,260.6	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
	職員1人あたり営業収益 (千円)	74,482	76,444	103,751	$\frac{(\text{営業収益} - \text{受託工事収益})}{\text{損益勘定所属職員数}}$

- (注) 1 経営資本＝期首・期末の経営資本（総資産－建設仮勘定－投資その他の資産）の平均値
 2 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益
 3 損益勘定所属職員数＝営業活動に従事する職員数
 4 令和4年度全国平均は、「令和4年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県営用水供給事業の平均値より算出

(ア) 経営資本営業利益率

経営に係る設備投資がどれだけ営業利益を生んだかを示し、割合が高いほど資産の効率性が良いことを表す。全国平均より低い。

(イ) 経営資本回転率

経営に係る設備投資がどれだけ営業収益を生んだかを示し、割合が高いほど資産の効率性が良いことを表す。全国平均より高い。

(ロ) 営業収益営業利益率

売上げに対する営業利益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。

(ハ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より若干低い。

(ニ) 自己資本構成比率

総資本（負債・資本合計）に占める自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より高い。

(カ) 固定資産対長期資本比率

長期資金に対する固定資産の割合を示し、割合が低いほど財政基盤が安定し、100%を上回ると過大投資となることを表す。全国平均と同程度となっている。

(キ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全度が高いことを表す。全国平均より高い。

(ク) 施設利用率

施設の利用状況を示し、100%に近いほど施設が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。

(ケ) 職員1人あたり有収水量

職員1人あたりの有収水量を示し、数字が大きいほど生産性が高いことを表す。全国平均より低い。

(コ) 職員1人あたり営業収益

職員1人あたりの営業収益を示し、金額が大きいほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。

ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	令和5年度(A)	令和4年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	3,508,660,959	5,126,971,497	△ 1,618,310,538
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 3,389,479,946	△ 3,147,107,255	△ 242,372,691
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 1,458,557,017	△ 1,576,764,536	118,207,519
資金増減額 (①+②+③)	△ 1,339,376,004	403,099,706	△ 1,742,475,710
資金期首残高	10,927,680,714	10,524,581,008	403,099,706
資金期末残高	9,588,304,710	10,927,680,714	△ 1,339,376,004

業務活動によるキャッシュ・フローは、当年度純利益 97 万円、減価償却費 45 億 887 万 6,819 円などにより、プラス 35 億 866 万 959 円となったが、前年度に比べ 16 億 1,831 万 538 円減少している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出 35 億 9,351 万 6,946 円などにより、マイナス 33 億 8,947 万 9,946 円となり、前年度に比べ 2 億 4,237 万 2,691 円減少している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の償還による支出 16 億 6,348 万 17 円などにより、マイナス 14 億 5,855 万 7,017 円となったが、前年度に比べ 1 億 1,820 万 7,519 円増加している。

この結果、令和 5 年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ 13 億 3,937 万 6,004 円減少し、95 億 8,830 万 4,710 円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー (①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー (②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金を受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー (③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額) の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる (業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賄っている状態)。

2 三重県工業用水道事業

(1) 事業の概況

工業用水道事業は、令和6年3月31日現在、北勢及び中勢地域の91社104工場に給水しており、施設の給水能力は日量911,500 m³である。また、契約水量は、前年度と同量の日量808,460 m³である。

令和5年度の1日平均給水量は423,462 m³（施設利用率46.5%）で、前年度に比べ6,423 m³（同0.7ポイント）減少している。また、年間の使用水量は211,805,559 m³で、前年度に比べ1,190,346 m³減少している。これは主にユーザーの休止水量が増加したことによる。

業務実績表（工業用水道事業）

事業名	区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)	
工 合 業 用 水 道 事 業 計	給水能力 (m ³ /日)	911,500	911,500	0	100.0%	
	1日平均給水量 (m ³ /日)	423,462	429,885	△ 6,423	98.5%	
	施設利用率 (%)	46.5	47.2	△ 0.7	-	
	契約水量 (m ³ /日) ※年度末現在	808,460	808,460	0	100.0%	
	使用水量 (m ³ /年)	211,805,559	212,995,905	△ 1,190,346	99.4%	
	給水収益 (千円/年)	5,206,083	5,199,540	6,543	100.1%	
	給水区域：桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、朝日町、川越町 91社104工場 (R6.3.31現在)					
北 伊 勢 工 業 用 水 道 事 業	給水能力 (m ³ /日)	840,000	840,000	0	100.0%	
	1日平均給水量 (m ³ /日)	390,120	396,822	△ 6,702	98.3%	
	施設利用率 (%)	46.4	47.2	△ 0.8	-	
	契約水量 (m ³ /日) ※年度末現在	754,990	754,990	0	100.0%	
	使用水量 (m ³ /年)	194,174,808	195,277,315	△ 1,102,507	99.4%	
	給水収益 (千円/年)	4,813,887	4,808,802	5,085	100.1%	
	料 金	基本料金 (円/m ³)	14.5	14.5	0.0	100.0%
		使用料金 (円/m ³)	4.0	4.0	0.0	100.0%
		超過料金 (円/m ³)	37.0	37.0	0.0	100.0%
	給水区域：桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、朝日町、川越町 69社80工場 (R6.3.31現在)					
中 伊 勢 工 業 用 水 道 事 業	給水能力 (m ³ /日)	33,000	33,000	0	100.0%	
	1日平均給水量 (m ³ /日)	11,175	10,932	243	102.2%	
	施設利用率 (%)	33.9	33.1	0.7	-	
	契約水量 (m ³ /日) ※年度末現在	14,970	14,970	0	100.0%	
	使用水量 (m ³ /年)	5,204,059	5,176,521	27,538	100.5%	
	給水収益 (千円/年)	165,713	164,545	1,168	100.7%	
	料 金	基本料金 (円/m ³)	27.4	27.4	0.0	100.0%
		使用料金 (円/m ³)	2.0	2.0	0.0	100.0%
超過料金 (円/m ³)		58.8	58.8	0.0	100.0%	
給水区域：津市 15社17工場 (R6.3.31現在)						

事業名	区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)	
松 阪 工 業 用 水 道 事 業	給水能力 (m ³ /日)	38,500	38,500	0	100.0%	
	1日平均給水量 (m ³ /日)	22,167	22,131	37	100.2%	
	施設利用率 (%)	57.6	57.5	0.1	-	
	契約水量 (m ³ /日) ※年度末現在	38,500	38,500	0	100.0%	
	使用水量 (m ³ /年)	12,426,692	12,542,069	△ 115,377	99.1%	
	給水収益 (千円/年)	226,483	226,193	290	100.1%	
	料 金	基本料金 (円/m ³)	14.9	14.9	0.0	100.0%
		使用料金 (円/m ³)	1.1	1.1	0.0	100.0%
		超過料金 (円/m ³)	32.0	32.0	0.0	100.0%
	給水区域：松阪市 7社7工場 (R6.3.31現在)					

(注) 1 契約水量及び使用水量は、料金収入の対象となる水量

2 鈴鹿工業用水道事業は、給水を行っていない。

3 四捨五入のため、比較増減等が合わない場合がある。

(2) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
工業用水道事業収益	6,386,059,000	6,381,187,462	△ 4,871,538	99.9%
営業収益	5,996,951,000	5,977,897,114	△ 19,053,886	99.7%
営業外収益	389,108,000	392,827,724	3,719,724	101.0%
特別利益	0	10,462,624	10,462,624	—

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

支出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A)
工業用水道事業費用	6,304,601,000	6,001,787,522	0	302,813,478	95.2%
営業費用	6,041,788,000	5,785,020,681	0	256,767,319	95.8%
営業外費用	260,813,000	216,766,841	0	44,046,159	83.1%
予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 工業用水道事業収益の決算額が予算額を487万1,538円下回っているのは、主に
その他営業収益の減による。
- ② 工業用水道事業費用の決算額が予算額を3億281万3,478円下回っているのは、
主に消費税及び地方消費税の確定に伴う減による。

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
資本的収入	2,004,153,000	1,964,557,762	△ 39,595,238	98.0%
企業債	1,500,000,000	1,500,000,000	0	100.0%
補助金	165,300,000	151,900,000	△ 13,400,000	91.9%
出資金	306,920,000	306,919,458	△ 542	100.0%
負担金	31,704,000	5,738,304	△ 25,965,696	18.1%
固定資産売却代金	229,000	0	△ 229,000	0.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む(ただし、課税取引なし)。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A)
資本的支出	5,340,268,885	4,730,401,289	448,458,670	161,408,926	88.6%
建設改良費	4,093,041,885	3,483,176,808	448,458,670	161,406,407	85.1%
償還金	1,147,227,000	1,147,224,481	0	2,519	100.0%
投 資	100,000,000	100,000,000	0	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額を3,959万5,238円下回っているのは、主に工事負担金の減による。
- ② 資本的支出の決算額と繰越額の合計が予算額を1億6,140万8,926円下回っているのは、主に北伊勢工水改良費の減による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額27億6,584万3,527円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3億238万8,733円及び過年度分損益勘定留保資金24億6,345万4,794円で補てんしている。

(3) 経営成績

ア 損益の状況

(単位：円)

項目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)－(B)	比率 (A)/(B)
総収益	5,833,816,572	5,800,653,099	33,163,473	100.6%
営業収益	5,434,543,890	5,431,073,620	3,470,270	100.1%
営業外収益	388,810,058	369,579,479	19,230,579	105.2%
特別利益	10,462,624	0	10,462,624	皆増
総費用	5,757,020,259	5,710,250,237	46,770,022	100.8%
営業費用	5,552,081,140	5,528,652,575	23,428,565	100.4%
営業外費用	204,939,119	181,597,662	23,341,457	112.9%
営業損益	△ 117,537,250	△ 97,578,955	△ 19,958,295	－
経常損益	66,333,689	90,402,862	△ 24,069,173	73.4%
純損益	76,796,313	90,402,862	△ 13,606,549	84.9%

令和5年度の総収益は58億3,381万6,572円で、前年度に比べ3,316万3,473円増加している。これは主に、受託工事収益の増による。

総費用は57億5,702万259円で、前年度に比べ4,677万22円増加している。これは主に、労務単価の上昇による委託料の増による。

この結果、純損益は7,679万6,313円の黒字となったが、前年度に比べ1,360万6,549円悪化している。

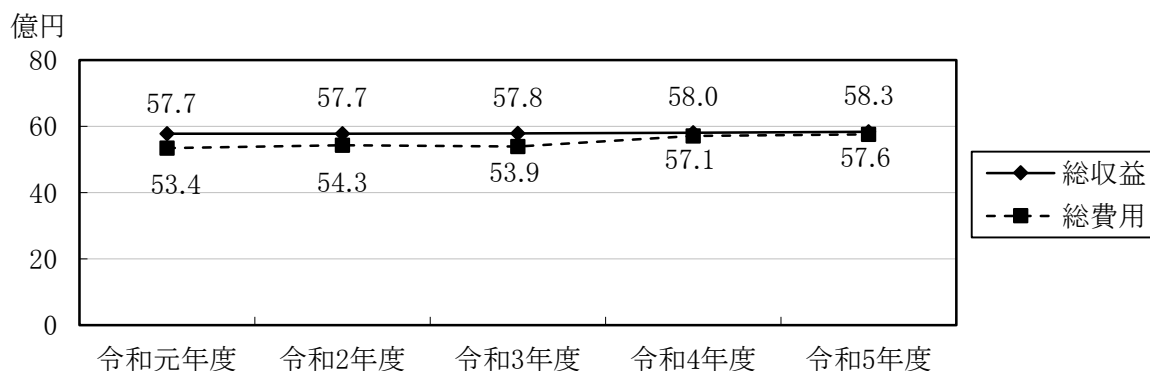
なお、事業別の純損益は、北伊勢工業用水道事業が4,010万9,445円の黒字、中伊勢工業用水道事業が85万8,317円の赤字、松阪工業用水道事業が6,061万2,703円の黒字、鈴鹿工業用水道事業が2,306万7,518円の赤字となっている。

【事業別純損益の状況】

(単位：円)

事業名	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A)－(B)
北伊勢工業用水道事業	5,379,134,986	5,339,025,541	40,109,445
中伊勢工業用水道事業	224,097,722	224,956,039	△ 858,317
松阪工業用水道事業	230,583,864	169,971,161	60,612,703
鈴鹿工業用水道事業	0	23,067,518	△ 23,067,518
合計	5,833,816,572	5,757,020,259	76,796,313

総収益と総費用の推移（工業用水道事業）



イ 主な経営成績

事業名	区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
北伊勢工業用 水道事業	総 収 益 (円)	5,379,134,986	5,347,835,013	31,299,973	100.6%
	総 費 用 (円)	5,339,025,541	5,268,016,668	71,008,873	101.3%
	当年度純損益 (円)	40,109,445	79,818,345	△ 39,708,900	50.3%
	総収支比率 (%)	100.8	101.5	△ 0.8	-
	供給単価 (円/m ³)	33.7	33.2	0.5	101.5%
	給水原価 (円/m ³)	35.1	34.3	0.9	102.5%
中伊勢工業用 水道事業	総 収 益 (円)	224,097,722	222,628,499	1,469,223	100.7%
	総 費 用 (円)	224,956,039	219,554,227	5,401,812	102.5%
	当年度純損益 (円)	△ 858,317	3,074,272	△ 3,932,589	-
	総収支比率 (%)	99.6	101.4	△ 1.8	-
	供給単価 (円/m ³)	40.5	41.2	△ 0.7	98.2%
	給水原価 (円/m ³)	41.7	41.4	0.4	100.9%
松阪工業用 水道事業	総 収 益 (円)	230,583,864	230,189,587	394,277	100.2%
	総 費 用 (円)	169,971,161	200,203,244	△ 30,232,083	84.9%
	当年度純損益 (円)	60,612,703	29,986,343	30,626,360	202.1%
	総収支比率 (%)	135.7	115.0	20.7	-
	供給単価 (円/m ³)	27.9	28.0	△ 0.1	99.7%
	給水原価 (円/m ³)	20.5	24.3	△ 3.8	84.5%
鈴鹿工業用 水道事業	総 収 益 (円)	0	0	0	-
	総 費 用 (円)	23,067,518	22,476,098	591,420	102.6%
	当年度純損益 (円)	△ 23,067,518	△ 22,476,098	△ 591,420	-
	総収支比率 (%)	0.0	0.0	0.0	-
	供給単価 (円/m ³)	-	-	-	-
	給水原価 (円/m ³)	-	-	-	-
工業用水道事業 合 計	総 収 益 (円)	5,833,816,572	5,800,653,099	33,163,473	100.6%
	総 費 用 (円)	5,757,020,259	5,710,250,237	46,770,022	100.8%
	当年度純損益 (円)	76,796,313	90,402,862	△ 13,606,549	84.9%
	総収支比率 (%)	101.3	101.6	△ 0.2	-
	供給単価 (円/m ³)	33.6	33.1	0.5	101.4%
	給水原価 (円/m ³)	34.7	34.1	0.6	101.8%

- (注) 1 総収支比率=総収益÷総費用
2 供給単価=給水収益÷有収水量(計量分)
3 給水原価={経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+長期前受金戻入)}
÷有収水量(計量分)
4 四捨五入のため、比較増減等が合わない場合がある。

(7) 北伊勢工業用水道事業

総収益は53億7,913万4,986円で、前年度に比べ3,129万9,973円増加している。これは主に、受託工事収益の増による。

総費用は53億3,902万5,541円で、前年度に比べ7,100万8,873円増加している。これは主に、労務単価の上昇による委託料及び減価償却費の増による。

この結果、純損益は4,010万9,445円の黒字となったが、前年度に比べ3,970万8,900円悪化している。

(8) 中伊勢工業用水道事業

総収益は2億2,409万7,722円で、前年度に比べ146万9,223円増加している。これは主に、給水収益の増による。

総費用は2億2,495万6,039円で、前年度に比べ540万1,812円増加している。これは主に、修繕費の増による。

この結果、純損益は85万8,317円の赤字となり、前年度に比べ393万2,589円悪化している。

(9) 松阪工業用水道事業

総収益は2億3,058万3,864円で、前年度に比べ39万4,277円増加している。これは主に、給水収益の増による。

総費用は1億6,997万1,161円で、前年度に比べ3,023万2,083円減少している。これは主に、国の電気料金の補助による動力費の減による。

この結果、純損益は6,061万2,703円の黒字となり、前年度に比べ3,062万6,360円改善している。

(10) 鈴鹿工業用水道事業

総収益は0円で、前年度と同額である。

総費用は2,306万7,518円で、前年度に比べ59万1,420円増加している。これは主に、負担金の増による。

この結果、純損益は2,306万7,518円の赤字となり、前年度に比べ59万1,420円悪化している。

(4) 剰余金計算書

(単位：円)

区 分	令和4年度末残高	令和4年度処分額	令和5年度変動額	令和5年度末残高
資本金	76,697,824,535	389,340,280	306,919,458	77,394,084,273
剰余金	1,708,474,660	△ 389,340,280	76,798,510	1,395,932,890
資本剰余金	1,228,731,518	0	2,197	1,228,733,715
受贈財産評価額	22,153,098	0	2,197	22,155,295
工事負担金	32,041,036	0	0	32,041,036
国庫補助金	887,432,239	0	0	887,432,239
その他資本剰余金	287,105,145	0	0	287,105,145
利益剰余金	479,743,142	△ 389,340,280	76,796,313	167,199,175
減債積立金	0	0	0	0
未処分利益剰余金	479,743,142	△ 389,340,280	76,796,313	167,199,175
資本合計	78,406,299,195	0	383,717,968	78,790,017,163

① 資本金の令和5年度末残高は、令和4年度に議会の議決を経て3億8,934万280円を組み入れるとともに、一般会計からの出資金3億691万9,458円を受け入れたため、令和4年度末残高から6億9,625万9,738円増加し、77億9,408万4,273円となっている。

② 剰余金の令和5年度末残高は、令和4年度末残高から3億1,254万1,770円減少し、13億9,593万2,890円となっている。

なお、利益剰余金の令和5年度末残高は、令和4年度末残高から、資本金への組入により3億8,934万280円が減少し、令和5年度純利益分7,679万6,313円が増加し、1億6,719万9,175円となっている。

(5) 剰余金処分計算書

(単位：円)

区 分	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
令和5年度末残高	77,394,084,273	1,228,733,715	167,199,175
処分後残高	77,394,084,273	1,228,733,715	(繰越利益剰余金) 167,199,175

未処分利益剰余金1億6,719万9,175円については、全額翌年度へ繰り越すこととしている。

(6) 財政状態

ア 貸借対照表

科 目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
固定資産	114,133,706,005	113,662,868,675	470,837,330	100.4%
流動資産	7,728,592,137	7,773,534,077	△ 44,941,940	99.4%
資産合計	121,862,298,142	121,436,402,752	425,895,390	100.4%
固定負債	24,955,166,792	24,879,578,100	75,588,692	100.3%
流動負債	1,752,660,662	1,602,623,255	150,037,407	109.4%
繰延収益	16,364,453,525	16,547,902,202	△ 183,448,677	98.9%
負債合計	43,072,280,979	43,030,103,557	42,177,422	100.1%
資本金	77,394,084,273	76,697,824,535	696,259,738	100.9%
剰余金	1,395,932,890	1,708,474,660	△ 312,541,770	81.7%
資本合計	78,790,017,163	78,406,299,195	383,717,968	100.5%
負債・資本合計	121,862,298,142	121,436,402,752	425,895,390	100.4%

(ア) 固定資産

決算額は1,141億3,370万6,005円で、前年度に比べ4億7,083万7,330円(0.4%)増加している。これは主に、建設仮勘定による有形固定資産の増による。

(イ) 流動資産

決算額は77億2,859万2,137円で、前年度に比べ4,494万1,940円(0.6%)減少している。これは主に、未収金の減による。

(ロ) 固定負債

決算額は249億5,516万6,792円で、前年度に比べ7,558万8,692円(0.3%)増加している。これは主に、企業債の新規発行に伴う残高の増による。

(ハ) 流動負債

決算額は17億5,266万662円で、前年度に比べ1億5,003万7,407円(9.4%)増加している。これは主に、企業債残高の増による。

(ニ) 繰延収益

決算額は163億6,445万3,525円で、前年度に比べ1億8,344万8,677円(1.1%)減少している。これは、長期前受金の収益化に伴う減による。

(ホ) 資本金

決算額は773億9,408万4,273円で、前年度に比べ6億9,625万9,738円(0.9%)増加している。これは主に、減債積立金取崩額の組入れに伴う増による。

(ヘ) 剰余金

決算額は13億9,593万2,890円で、前年度に比べ3億1,254万1,770円(18.3%)減少している。これは、当年度未処分利益剰余金の減少に伴う利益剰余金の減による。

イ 経営分析

項目		令和5年度	令和4年度	(参考) 令和4年度 全国平均	算式
経済性	経営資本営業利益率 (%)	△ 0.19	△ 0.16	△ 0.09	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$
	経営資本回転率 (回)	0.088	0.087	0.068	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
	営業収益営業利益率 (%)	△ 2.2	△ 1.8	△ 1.4	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$
	経常収支比率 (%)	101.2	101.6	110.7	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
安定性	自己資本構成比率 (%)	78.1	78.2	73.1	$\frac{\text{自己資本}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	95.0	94.9	86.3	$\frac{\text{固定資産}}{(\text{固定負債} + \text{自己資本})} \times 100$
	流動比率 (%)	441.0	485.1	424.9	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
生産性	施設利用率 (%)	46.5	47.2	54.5	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日あたり配水能力}} \times 100$
	職員1人あたり有収水量 (千m ³)	3,259	3,277	3,836	$\frac{\text{年間総有収水量 (料金算定分)}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
	職員1人あたり営業収益 (千円)	83,608	83,555	77,602	$\frac{(\text{営業収益} - \text{受託工事収益})}{\text{損益勘定所属職員数}}$

- (注) 1 経営資本＝期首・期末の経営資本（総資産－建設仮勘定－投資その他の資産）の平均値
 2 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益
 3 損益勘定所属職員数＝営業活動に従事する職員数
 4 令和4年度全国平均は、「令和4年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県営工業用水道事業の平均値より算出

(ア) 経営資本営業利益率

経営に係る設備投資がどれだけ営業利益を生んだかを示し、割合が高いほど資産の効率性が良いことを表す。全国平均より低い。

(イ) 経営資本回転率

経営に係る設備投資がどれだけ営業収益を生んだかを示し、割合が高いほど資産の効率性が良いことを表す。全国平均より高い。

(ロ) 営業収益営業利益率

売上げに対する営業利益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。

(ハ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。

(ニ) 自己資本構成比率

総資本（負債・資本合計）に占める自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より若干高い。

(カ) 固定資産対長期資本比率

長期資金に対する固定資産の割合を示し、割合が低いほど財政基盤が安定し、100%を上回ると過大投資となることを表す。全国平均より若干高い。

(キ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全度が高いことを表す。全国平均より若干高い。

(ク) 施設利用率

施設の利用状況を示し、100%に近いほど施設が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。

(ケ) 職員1人あたり有収水量

職員1人あたりの有収水量を示し、数字が大きいほど生産性が高いことを表す。全国平均より低い。

(コ) 職員1人あたり営業収益

職員1人あたりの営業収益を示し、金額が大きいほど収益性が高いことを表す。全国平均より若干高い。

ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	令和5年度(A)	令和4年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	2,676,901,333	1,913,306,183	763,595,150
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 3,123,149,771	△ 3,960,892,697	837,742,926
財務活動によるキャッシュ・フロー③	659,694,977	739,981,583	△ 80,286,606
資金増減額 (①+②+③)	213,446,539	△ 1,307,604,931	1,521,051,470
資金期首残高	6,727,742,171	8,035,347,102	△ 1,307,604,931
資金期末残高	6,941,188,710	6,727,742,171	213,446,539

業務活動によるキャッシュ・フローは、当年度純利益7,679万6,313円、減価償却費28億48万912円などにより、プラス26億7,690万1,333円となり、前年度に比べ7億6,359万5,150円増加している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出31億8,078万8,075円などにより、マイナス31億2,314万9,771円となったが、前年度に比べ8億3,774万2,926円増加している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の発行による収入15億円などにより、プラス6億5,969万4,977円となったが、前年度に比べ8,028万6,606円減少している。

この結果、令和5年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ2億1,344万6,539円増加し、69億4,118万8,710円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー (①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー (②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金を受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー (③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額) の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる (業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賄っている状態)。

第5 決算諸表

1 三重県水道事業

(1) 比較損益計算書

比較損益計算書（水道事業計）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
営業収益	8,193,010,234	8,103,086,359	89,923,875	101.1%
給水収益	8,188,340,895	8,098,217,043	90,123,852	101.1%
その他営業収益	4,669,339	4,869,316	△ 199,977	95.9%
営業費用	8,906,068,080	8,661,514,064	244,554,016	102.8%
原水及び浄水費	2,562,556,515	2,443,462,360	119,094,155	104.9%
配水費	697,698,823	677,944,848	19,753,975	102.9%
業務費	379,359,694	382,977,112	△ 3,617,418	99.1%
総係費	344,755,323	357,801,830	△ 13,046,507	96.4%
減価償却費	4,508,876,819	4,478,062,570	30,814,249	100.7%
資産減耗費	412,820,906	321,265,344	91,555,562	128.5%
営業損益	△ 713,057,846	△ 558,427,705	△ 154,630,141	-
営業外収益	967,488,274	896,249,528	71,238,746	107.9%
受取利息	360,963	378,897	△ 17,934	95.3%
他会計補助金	38,862,600	41,021,000	△ 2,158,400	94.7%
受託工事収益	69,461,600	12,012,099	57,449,501	578.3%
長期前受金戻入	857,033,013	840,781,349	16,251,664	101.9%
雑収益	1,770,098	2,056,183	△ 286,085	86.1%
営業外費用	263,923,052	266,711,436	△ 2,788,384	99.0%
支払利息及び企業債取扱諸費	194,184,233	244,053,578	△ 49,869,345	79.6%
受託工事費	69,461,600	12,012,099	57,449,501	578.3%
雑支出	277,219	10,645,759	△ 10,368,540	2.6%
経常損益	△ 9,492,624	71,110,387	△ 80,603,011	-
特別利益	10,462,624	0	10,462,624	皆増
その他特別利益	10,462,624	0	10,462,624	皆増
当年度純損益	970,000	71,110,387	△ 70,140,387	1.4%
前年度繰越利益剰余金	71,110,387	0	71,110,387	皆増
その他未処分利益剰余金変動額	0	394,917,051	△ 394,917,051	皆減
当年度未処分利益剰余金	72,080,387	466,027,438	△ 393,947,051	15.5%

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（北勢系／木曾川用水系）

（単位：円）

科目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比率
営業収益	1,246,843,184	1,220,349,853	26,493,331	102.2%
給水収益	1,245,306,255	1,218,494,535	26,811,720	102.2%
その他営業収益	1,536,929	1,855,318	△ 318,389	82.8%
営業費用	1,274,586,310	1,158,250,799	116,335,511	110.0%
原水及び浄水費	359,961,281	357,417,517	2,543,764	100.7%
配水費	152,472,854	113,802,238	38,670,616	134.0%
業務費	53,833,472	53,052,838	780,634	101.5%
総係費	66,120,689	68,515,026	△ 2,394,337	96.5%
減価償却費	491,632,878	480,099,825	11,533,053	102.4%
資産減耗費	150,565,136	85,363,355	65,201,781	176.4%
営業損益	△ 27,743,126	62,099,054	△ 89,842,180	-
営業外収益	37,521,349	36,216,458	1,304,891	103.6%
受取利息	67,326	70,589	△ 3,263	95.4%
他会計補助金	756,591	875,567	△ 118,976	86.4%
受託工事収益	0	2,530,320	△ 2,530,320	皆減
長期前受金戻入	36,395,294	32,218,754	4,176,540	113.0%
雑収益	302,138	521,228	△ 219,090	58.0%
営業外費用	29,044,708	39,331,132	△ 10,286,424	73.8%
支払利息及び企業債取扱諸費	28,992,863	34,810,796	△ 5,817,933	83.3%
受託工事費	0	2,530,320	△ 2,530,320	皆減
雑支出	51,845	1,990,016	△ 1,938,171	2.6%
経常損益	△ 19,266,485	58,984,380	△ 78,250,865	-
特別利益	1,956,720	0	1,956,720	皆増
その他特別利益	1,956,720	0	1,956,720	皆増
当年度純損益	△ 17,309,765	58,984,380	△ 76,294,145	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（北勢系／三重用水系）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
営業収益	1,530,383,545	1,525,914,262	4,469,283	100.3%
給水収益	1,530,382,821	1,525,909,755	4,473,066	100.3%
その他営業収益	724	4,507	△ 3,783	16.1%
営業費用	1,579,780,475	1,536,885,532	42,894,943	102.8%
原水及び浄水費	541,494,919	497,836,820	43,658,099	108.8%
配水費	11,240,899	11,987,907	△ 747,008	93.8%
業務費	33,110,959	33,705,514	△ 594,555	98.2%
総係費	40,718,043	42,245,914	△ 1,527,871	96.4%
減価償却費	928,547,966	939,365,870	△ 10,817,904	98.8%
資産減耗費	24,667,689	11,743,507	12,924,182	210.1%
営業損益	△ 49,396,930	△ 10,971,270	△ 38,425,660	-
営業外収益	48,583,964	46,033,708	2,550,256	105.5%
受取利息	41,311	42,657	△ 1,346	96.8%
他会計補助金	480,524	556,091	△ 75,567	86.4%
受託工事収益	0	0	0	-
長期前受金戻入	47,909,505	45,236,687	2,672,818	105.9%
雑収益	152,624	198,273	△ 45,649	77.0%
営業外費用	13,019,238	20,389,993	△ 7,370,755	63.9%
支払利息及び企業債取扱諸費	12,986,310	19,126,096	△ 6,139,786	67.9%
受託工事費	0	0	0	-
雑支出	32,928	1,263,897	△ 1,230,969	2.6%
経常損益	△ 13,832,204	14,672,445	△ 28,504,649	-
特別利益	1,242,750	0	1,242,750	皆増
その他特別利益	1,242,750	0	1,242,750	皆増
当年度純損益	△ 12,589,454	14,672,445	△ 27,261,899	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（北勢系／長良川水系）

（単位：円）

科目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比率
営業収益	628,785,949	628,417,697	368,252	100.1%
給水収益	628,784,475	628,415,223	369,252	100.1%
その他営業収益	1,474	2,474	△ 1,000	59.6%
営業費用	645,056,378	663,889,056	△ 18,832,678	97.2%
原水及び浄水費	61,972,299	63,276,388	△ 1,304,089	97.9%
配水費	90,559,182	106,791,187	△ 16,232,005	84.8%
業務費	11,686,096	11,876,908	△ 190,812	98.4%
総係費	14,096,793	14,635,691	△ 538,898	96.3%
減価償却費	461,563,598	464,153,206	△ 2,589,608	99.4%
資産減耗費	5,178,410	3,155,676	2,022,734	164.1%
営業損益	△ 16,270,429	△ 35,471,359	19,200,930	-
営業外収益	134,732,703	142,764,213	△ 8,031,510	94.4%
受取利息	17,295	19,128	△ 1,833	90.4%
他会計補助金	429,588	276,260	153,328	155.5%
受託工事収益	0	8,758,979	△ 8,758,979	皆減
長期前受金戻入	134,218,098	133,609,337	608,761	100.5%
雑収益	67,722	100,509	△ 32,787	67.4%
営業外費用	69,278,745	84,757,955	△ 15,479,210	81.7%
支払利息及び企業債取扱諸費	69,267,124	75,552,920	△ 6,285,796	91.7%
受託工事費	0	8,758,979	△ 8,758,979	皆減
雑支出	11,621	446,056	△ 434,435	2.6%
経常損益	49,183,529	22,534,899	26,648,630	218.3%
特別利益	438,593	0	438,593	皆増
その他特別利益	438,593	0	438,593	皆増
当年度純損益	49,622,122	22,534,899	27,087,223	220.2%

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（中勢系）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
営業収益	2,639,394,545	2,591,898,540	47,496,005	101.8%
給水収益	2,636,632,254	2,588,902,182	47,730,072	101.8%
その他営業収益	2,762,291	2,996,358	△ 234,067	92.2%
営業費用	2,741,789,341	2,614,932,395	126,856,946	104.9%
原水及び浄水費	932,710,258	852,520,860	80,189,398	109.4%
配水費	234,002,206	220,439,521	13,562,685	106.2%
業務費	157,533,539	157,240,324	293,215	100.2%
総係費	111,137,116	115,454,055	△ 4,316,939	96.3%
減価償却費	1,211,938,881	1,205,165,792	6,773,089	100.6%
資産減耗費	94,467,341	64,111,843	30,355,498	147.3%
営業損益	△ 102,394,796	△ 23,033,855	△ 79,360,941	-
営業外収益	235,868,925	239,345,596	△ 3,476,671	98.5%
受取利息	122,897	131,256	△ 8,359	93.6%
他会計補助金	1,486,350	2,014,308	△ 527,958	73.8%
受託工事収益	0	722,800	△ 722,800	皆減
長期前受金戻入	233,807,433	235,886,420	△ 2,078,987	99.1%
雑収益	452,245	590,812	△ 138,567	76.5%
営業外費用	75,662,947	109,335,505	△ 33,672,558	69.2%
支払利息及び企業債取扱諸費	75,572,416	105,132,685	△ 29,560,269	71.9%
受託工事費	0	722,800	△ 722,800	皆減
雑支出	90,531	3,480,020	△ 3,389,489	2.6%
経常損益	57,811,182	106,976,236	△ 49,165,054	54.0%
特別利益	3,416,778	0	3,416,778	皆増
その他特別利益	3,416,778	0	3,416,778	皆増
当年度純損益	61,227,960	106,976,236	△ 45,748,276	57.2%

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（南勢志摩）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
営業収益	2,147,603,011	2,136,506,007	11,097,004	100.5%
給水収益	2,147,235,090	2,136,495,348	10,739,742	100.5%
その他営業収益	367,921	10,659	357,262	3,451.7%
営業費用	2,664,855,576	2,687,556,282	△ 22,700,706	99.2%
原水及び浄水費	666,417,758	672,410,775	△ 5,993,017	99.1%
配水費	209,423,682	224,923,995	△ 15,500,313	93.1%
業務費	123,195,628	127,101,528	△ 3,905,900	96.9%
総係費	112,682,682	116,951,144	△ 4,268,462	96.4%
減価償却費	1,415,193,496	1,389,277,877	25,915,619	101.9%
資産減耗費	137,942,330	156,890,963	△ 18,948,633	87.9%
営業損益	△ 517,252,565	△ 551,050,275	33,797,710	-
営業外収益	510,781,333	431,889,553	78,891,780	118.3%
受取利息	112,134	115,267	△ 3,133	97.3%
他会計補助金	35,709,547	37,298,774	△ 1,589,227	95.7%
受託工事収益	69,461,600	0	69,461,600	皆増
長期前受金戻入	404,702,683	393,830,151	10,872,532	102.8%
雑収益	795,369	645,361	150,008	123.2%
営業外費用	76,917,414	12,896,851	64,020,563	596.4%
支払利息及び企業債取扱諸費	7,365,520	9,431,081	△ 2,065,561	78.1%
受託工事費	69,461,600	0	69,461,600	皆増
雑支出	90,294	3,465,770	△ 3,375,476	2.6%
経常損益	△ 83,388,646	△ 132,057,573	48,668,927	-
特別利益	3,407,783	0	3,407,783	皆増
その他特別利益	3,407,783	0	3,407,783	皆増
当年度純損益	△ 79,980,863	△ 132,057,573	52,076,710	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

(2) 比較貸借対照表

比較貸借対照表（水道事業）

（単位：円）

科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	115,560,579,175	91.5%	116,856,643,757	90.5%	△ 1,296,064,582	98.9%
有形固定資産	80,631,303,668	63.9%	80,471,742,442	62.4%	159,561,226	100.2%
土地	3,630,463,801	2.9%	3,628,160,421	2.8%	2,303,380	100.1%
建物	3,096,646,501	2.5%	3,069,590,341	2.4%	27,056,160	100.9%
構築物	46,525,442,685	36.9%	46,348,641,247	35.9%	176,801,438	100.4%
機械及び装置	10,299,776,459	8.2%	10,319,991,707	8.0%	△ 20,215,248	99.8%
車両運搬具	6,164,799	0.0%	7,688,793	0.0%	△ 1,523,994	80.2%
工具器具及び備品	148,889,280	0.1%	150,340,529	0.1%	△ 1,451,249	99.0%
建設仮勘定	16,923,920,143	13.4%	16,947,329,404	13.1%	△ 23,409,261	99.9%
無形固定資産	34,779,275,507	27.6%	36,084,901,315	28.0%	△ 1,305,625,808	96.4%
施設利用権	31,821,261	0.0%	33,182,670	0.0%	△ 1,361,409	95.9%
電話加入権	2,527,900	0.0%	2,527,900	0.0%	0	100.0%
ダム使用権	34,730,508,466	27.5%	36,049,190,745	27.9%	△ 1,318,682,279	96.3%
その他無形固定資産	14,417,880	0.0%	0	0.0%	14,417,880	皆増
投資その他の資産	150,000,000	0.1%	300,000,000	0.2%	△ 150,000,000	50.0%
長期貸付金	150,000,000	0.1%	300,000,000	0.2%	△ 150,000,000	50.0%
流動資産	10,678,946,118	8.5%	12,201,316,789	9.5%	△ 1,522,370,671	87.5%
現金預金	9,588,304,710	7.6%	10,927,680,714	8.5%	△ 1,339,376,004	87.7%
未収金	929,596,889	0.7%	1,104,863,368	0.9%	△ 175,266,479	84.1%
貯蔵品	145,737,104	0.1%	153,594,421	0.1%	△ 7,857,317	94.9%
前払金	307,415	0.0%	178,286	0.0%	129,129	172.4%
その他流動資産	15,000,000	0.0%	15,000,000	0.0%	0	100.0%
資産合計	126,239,525,293	100.0%	129,057,960,546	100.0%	△ 2,818,435,253	97.8%
固定負債	10,429,850,879	8.3%	12,224,789,263	9.5%	△ 1,794,938,384	85.3%
企業債	5,985,609,051	4.7%	7,475,441,796	5.8%	△ 1,489,832,745	80.1%
引当金	4,444,241,828	3.5%	4,749,347,467	3.7%	△ 305,105,639	93.6%
退職給付引当金	944,676,458	0.7%	1,043,925,311	0.8%	△ 99,248,853	90.5%
修繕引当金	3,499,565,370	2.8%	3,705,422,156	2.9%	△ 205,856,786	94.4%
流動負債	2,402,145,669	1.9%	2,828,539,525	2.2%	△ 426,393,856	84.9%
企業債	1,489,832,746	1.2%	1,663,480,018	1.3%	△ 173,647,272	89.6%
未払金	784,541,300	0.6%	1,050,759,171	0.8%	△ 266,217,871	74.7%
引当金	66,406,000	0.1%	62,898,231	0.0%	3,507,769	105.6%
賞与引当金	66,406,000	0.1%	62,898,231	0.0%	3,507,769	105.6%
その他流動負債	61,365,623	0.0%	51,402,105	0.0%	9,963,518	119.4%
繰延収益	20,744,270,253	16.4%	21,397,266,266	16.6%	△ 652,996,013	96.9%
長期前受金	20,744,270,253	16.4%	21,397,266,266	16.6%	△ 652,996,013	96.9%
負債合計	33,576,266,801	26.6%	36,450,595,054	28.2%	△ 2,874,328,253	92.1%
資本金	91,722,025,045	72.7%	91,272,184,994	70.7%	449,840,051	100.5%
剰余金	941,233,447	0.7%	1,335,180,498	1.0%	△ 393,947,051	70.5%
資本剰余金	869,153,060	0.7%	869,153,060	0.7%	0	100.0%
受贈財産評価額	1,037,878	0.0%	1,037,878	0.0%	0	100.0%
工事負担金	57,614,051	0.0%	57,614,051	0.0%	0	100.0%
国庫補助金	810,246,063	0.6%	810,246,063	0.6%	0	100.0%
その他資本剰余金	255,068	0.0%	255,068	0.0%	0	100.0%
利益剰余金	72,080,387	0.1%	466,027,438	0.4%	△ 393,947,051	15.5%
当年度末処分利益剰余金	72,080,387	0.1%	466,027,438	0.4%	△ 393,947,051	15.5%
資本合計	92,663,258,492	73.4%	92,607,365,492	71.8%	55,893,000	100.1%
負債・資本合計	126,239,525,293	100.0%	129,057,960,546	100.0%	△ 2,818,435,253	97.8%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

2 三重県工業用水道事業

(1) 比較損益計算書

比較損益計算書（工業用水道事業計）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
営業収益	5,434,543,890	5,431,073,620	3,470,270	100.1%
給水収益	5,206,083,145	5,199,540,887	6,542,258	100.1%
その他営業収益	228,460,745	231,532,733	△ 3,071,988	98.7%
営業費用	5,552,081,140	5,528,652,575	23,428,565	100.4%
原水及び浄水費	1,838,476,663	1,740,139,477	98,337,186	105.7%
配水費	239,477,751	262,291,411	△ 22,813,660	91.3%
業務費	273,054,642	353,612,703	△ 80,558,061	77.2%
総係費	340,994,522	322,547,153	18,447,369	105.7%
減価償却費	2,800,480,912	2,703,488,560	96,992,352	103.6%
資産減耗費	59,596,650	146,573,271	△ 86,976,621	40.7%
営業損益	△ 117,537,250	△ 97,578,955	△ 19,958,295	-
営業外収益	388,810,058	369,579,479	19,230,579	105.2%
受取利息	516,051	201,536	314,515	256.1%
他会計補助金	3,632,400	2,894,000	738,400	125.5%
受託工事収益	40,093,040	13,592,800	26,500,240	295.0%
長期前受金戻入	341,086,981	348,591,023	△ 7,504,042	97.8%
雑収益	3,481,586	4,300,120	△ 818,534	81.0%
営業外費用	204,939,119	181,597,662	23,341,457	112.9%
支払利息及び企業債取扱諸費	164,361,497	167,422,877	△ 3,061,380	98.2%
受託工事費	40,093,040	13,592,800	26,500,240	295.0%
雑支出	484,582	581,985	△ 97,403	83.3%
経常損益	66,333,689	90,402,862	△ 24,069,173	73.4%
特別利益	10,462,624	0	10,462,624	皆増
その他特別利益	10,462,624	0	10,462,624	皆増
当年度純損益	76,796,313	90,402,862	△ 13,606,549	84.9%
前年度繰越利益剰余金	90,402,862	0	90,402,862	皆増
その他未処分利益剰余金変動額	0	389,340,280	△ 389,340,280	皆減
当年度未処分利益剰余金	167,199,175	479,743,142	△ 312,543,967	34.9%

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（北伊勢工業用水道事業）

（単位：円）

科目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比率
営業収益	5,038,649,166	5,036,895,903	1,753,263	100.0%
給水収益	4,813,887,093	4,808,802,447	5,084,646	100.1%
その他営業収益	224,762,073	228,093,456	△ 3,331,383	98.5%
営業費用	5,140,097,274	5,091,660,939	48,436,335	101.0%
原水及び浄水費	1,762,137,260	1,616,163,057	145,974,203	109.0%
配水費	180,773,219	213,324,735	△ 32,551,516	84.7%
業務費	223,975,105	315,319,881	△ 91,344,776	71.0%
総係費	317,430,623	300,167,792	17,262,831	105.8%
減価償却費	2,600,681,596	2,509,571,087	91,110,509	103.6%
資産減耗費	55,099,471	137,114,387	△ 82,014,916	40.2%
営業損益	△ 101,448,108	△ 54,765,036	△ 46,683,072	-
営業外収益	330,715,194	310,939,110	19,776,084	106.4%
受取利息	502,873	188,345	314,528	267.0%
他会計補助金	3,199,010	2,673,083	525,927	119.7%
受託工事収益	40,093,040	13,592,800	26,500,240	295.0%
長期前受金戻入	283,550,474	290,306,752	△ 6,756,278	97.7%
雑収益	3,369,797	4,178,130	△ 808,333	80.7%
営業外費用	198,928,267	176,355,729	22,572,538	112.8%
支払利息及び企業債取扱諸費	158,382,695	162,216,689	△ 3,833,994	97.6%
受託工事費	40,093,040	13,592,800	26,500,240	295.0%
雑支出	452,532	546,240	△ 93,708	82.8%
経常損益	30,338,819	79,818,345	△ 49,479,526	38.0%
特別利益	9,770,626	0	9,770,626	皆増
その他特別利益	9,770,626	0	9,770,626	皆増
当年度純損益	40,109,445	79,818,345	△ 39,708,900	50.3%

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（中伊勢工業用水道事業）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
営業収益	169,411,379	167,984,241	1,427,138	100.8%
給水収益	165,712,788	164,545,032	1,167,756	100.7%
その他営業収益	3,698,591	3,439,209	259,382	107.5%
営業費用	222,499,836	217,336,397	5,163,439	102.4%
原水及び浄水費	30,026,979	63,063,460	△ 33,036,481	47.6%
配水費	45,419,700	10,458,554	34,961,146	434.3%
業務費	13,893,988	7,869,185	6,024,803	176.6%
総係費	7,617,119	7,341,409	275,710	103.8%
減価償却費	123,332,150	121,032,213	2,299,937	101.9%
資産減耗費	2,209,900	7,571,576	△ 5,361,676	29.2%
営業損益	△ 53,088,457	△ 49,352,156	△ 3,736,301	-
営業外収益	54,492,575	54,644,258	△ 151,683	99.7%
受取利息	3,690	3,585	105	102.9%
他会計補助金	236,546	60,047	176,499	393.9%
受託工事収益	0	0	0	-
長期前受金戻入	54,215,273	54,524,867	△ 309,594	99.4%
雑収益	37,066	55,759	△ 18,693	66.5%
営業外費用	2,456,203	2,217,830	238,373	110.7%
支払利息及び企業債取扱諸費	2,447,229	2,208,114	239,115	110.8%
受託工事費	0	0	0	-
雑支出	8,974	9,716	△ 742	92.4%
経常損益	△ 1,052,085	3,074,272	△ 4,126,357	-
特別利益	193,768	0	193,768	皆増
その他特別利益	193,768	0	193,768	皆増
当年度純損益	△ 858,317	3,074,272	△ 3,932,589	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（松阪工業用水道事業）

（単位：円）

科目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比率
営業収益	226,483,345	226,193,476	289,869	100.1%
給水収益	226,483,264	226,193,408	289,856	100.1%
その他営業収益	81	68	13	119.1%
営業費用	166,416,512	197,179,141	△ 30,762,629	84.4%
原水及び浄水費	23,244,906	38,436,862	△ 15,191,956	60.5%
配水費	13,284,832	38,508,122	△ 25,223,290	34.5%
業務費	35,185,549	30,423,637	4,761,912	115.7%
総係費	15,946,780	15,037,952	908,828	106.0%
減価償却費	76,467,166	72,885,260	3,581,906	104.9%
資産減耗費	2,287,279	1,887,308	399,971	121.2%
営業損益	60,066,833	29,014,335	31,052,498	207.0%
営業外収益	3,602,289	3,996,111	△ 393,822	90.1%
受取利息	9,488	9,606	△ 118	98.8%
他会計補助金	196,844	160,870	35,974	122.4%
受託工事収益	0	0	0	-
長期前受金戻入	3,321,234	3,759,404	△ 438,170	88.3%
雑収益	74,723	66,231	8,492	112.8%
営業外費用	3,554,649	3,024,103	530,546	117.5%
支払利息及び企業債取扱諸費	3,531,573	2,998,074	533,499	117.8%
受託工事費	0	0	0	-
雑支出	23,076	26,029	△ 2,953	88.7%
経常損益	60,114,473	29,986,343	30,128,130	200.5%
特別利益	498,230	0	498,230	皆増
その他特別利益	498,230	0	498,230	皆増
当年度純損益	60,612,703	29,986,343	30,626,360	202.1%

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（鈴鹿工業用水道事業）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
営業収益	0	0	0	-
給水収益	0	0	0	-
その他営業収益	0	0	0	-
営業費用	23,067,518	22,476,098	591,420	102.6%
原水及び浄水費	23,067,518	22,476,098	591,420	102.6%
配水費	0	0	0	-
業務費	0	0	0	-
総係費	0	0	0	-
減価償却費	0	0	0	-
資産減耗費	0	0	0	-
営業損益	△ 23,067,518	△ 22,476,098	△ 591,420	-
営業外収益	0	0	0	-
受取利息	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
受託工事収益	0	0	0	-
長期前受金戻入	0	0	0	-
雑収益	0	0	0	-
営業外費用	0	0	0	-
支払利息及び企業債取扱諸費	0	0	0	-
受託工事費	0	0	0	-
雑支出	0	0	0	-
経常損益	△ 23,067,518	△ 22,476,098	△ 591,420	-
特別利益	0	0	0	-
その他特別利益	0	0	0	-
当年度純損益	△ 23,067,518	△ 22,476,098	△ 591,420	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

(2) 比較貸借対照表

比較貸借対照表（工業用水道事業）

（単位：円）

科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	114,133,706,005	93.7%	113,662,868,675	93.6%	470,837,330	100.4%
有形固定資産	110,615,303,741	90.8%	110,053,533,749	90.6%	561,769,992	100.5%
土地	3,927,988,398	3.2%	3,906,615,234	3.2%	21,373,164	100.5%
建物	2,560,061,721	2.1%	2,605,915,096	2.1%	△ 45,853,375	98.2%
構築物	39,203,802,683	32.2%	39,431,144,108	32.5%	△ 227,341,425	99.4%
機械及び装置	4,282,870,695	3.5%	4,351,500,443	3.6%	△ 68,629,748	98.4%
車両運搬具	10,384,507	0.0%	6,147,834	0.0%	4,236,673	168.9%
工具器具及び備品	19,232,404	0.0%	19,535,840	0.0%	△ 303,436	98.4%
建設仮勘定	60,610,963,333	49.7%	59,732,675,194	49.2%	878,288,139	101.5%
無形固定資産	3,418,402,264	2.8%	3,609,334,926	3.0%	△ 190,932,662	94.7%
地上権	10,603,837	0.0%	0	0.0%	10,603,837	皆増
施設利用権	31,173,952	0.0%	35,718,074	0.0%	△ 4,544,122	87.3%
電話加入権	2,573,476	0.0%	2,573,476	0.0%	0	100.0%
ダム使用権	3,364,404,879	2.8%	3,571,043,376	2.9%	△ 206,638,497	94.2%
その他無形固定資産	9,646,120	0.0%	0	0.0%	9,646,120	皆増
投資その他の資産	100,000,000	0.1%	0	0.0%	100,000,000	皆増
投資有価証券	100,000,000	0.1%	0	0.0%	100,000,000	皆増
流動資産	7,728,592,137	6.3%	7,773,534,077	6.4%	△ 44,941,940	99.4%
現金預金	6,941,188,710	5.7%	6,727,742,171	5.5%	213,446,539	103.2%
未収金	668,920,702	0.5%	910,103,005	0.7%	△ 241,182,303	73.5%
貯蔵品	103,374,029	0.1%	120,609,333	0.1%	△ 17,235,304	85.7%
前払金	108,696	0.0%	79,568	0.0%	29,128	136.6%
その他流動資産	15,000,000	0.0%	15,000,000	0.0%	0	100.0%
資産合計	121,862,298,142	100.0%	121,436,402,752	100.0%	425,895,390	100.4%
固定負債	24,955,166,792	20.5%	24,879,578,100	20.5%	75,588,692	100.3%
企業債	19,388,529,695	15.9%	19,093,479,312	15.7%	295,050,383	101.5%
引当金	5,566,637,097	4.6%	5,786,098,788	4.8%	△ 219,461,691	96.2%
退職給付引当金	742,960,669	0.6%	765,020,758	0.6%	△ 22,060,089	97.1%
修繕引当金	4,823,676,428	4.0%	5,021,078,030	4.1%	△ 197,401,602	96.1%
流動負債	1,752,660,662	1.4%	1,602,623,255	1.3%	150,037,407	109.4%
企業債	1,204,949,617	1.0%	1,147,224,481	0.9%	57,725,136	105.0%
未払金	426,784,895	0.4%	378,368,168	0.3%	48,416,727	112.8%
引当金	45,285,000	0.0%	45,723,846	0.0%	△ 438,846	99.0%
賞与引当金	45,285,000	0.0%	45,723,846	0.0%	△ 438,846	99.0%
その他流動負債	75,641,150	0.1%	31,306,760	0.0%	44,334,390	241.6%
繰延収益	16,364,453,525	13.4%	16,547,902,202	13.6%	△ 183,448,677	98.9%
長期前受金	16,364,453,525	13.4%	16,547,902,202	13.6%	△ 183,448,677	98.9%
負債合計	43,072,280,979	35.3%	43,030,103,557	35.4%	42,177,422	100.1%
資本金	77,394,084,273	63.5%	76,697,824,535	63.2%	696,259,738	100.9%
剰余金	1,395,932,890	1.1%	1,708,474,660	1.4%	△ 312,541,770	81.7%
資本剰余金	1,228,733,715	1.0%	1,228,731,518	1.0%	2,197	100.0%
受贈財産評価額	22,155,295	0.0%	22,153,098	0.0%	2,197	100.0%
工事負担金	32,041,036	0.0%	32,041,036	0.0%	0	100.0%
国庫補助金	887,432,239	0.7%	887,432,239	0.7%	0	100.0%
その他資本剰余金	287,105,145	0.2%	287,105,145	0.2%	0	100.0%
利益剰余金	167,199,175	0.1%	479,743,142	0.4%	△ 312,543,967	34.9%
当年度未処分利益剰余金	167,199,175	0.1%	479,743,142	0.4%	△ 312,543,967	34.9%
資本合計	78,790,017,163	64.7%	78,406,299,195	64.6%	383,717,968	100.5%
負債・資本合計	121,862,298,142	100.0%	121,436,402,752	100.0%	425,895,390	100.4%

(注) 構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

令和5年度三重県公営企業会計（企業庁）
決算審査意見書

令和6年9月

三重県監査委員事務局
〒514-0004 津市栄町1丁目954番地
電話(059)224-2924